

令和2年度 事業報告書

1. 臓器提供発生時の対応

臓器移植コーディネーターを設置し、臓器提供に関する情報や連絡に基づき、365日24時間体制で対応し、各医療機関との調整及び臓器又は角膜提供希望者の家族に対し、移植医療についての説明や承諾後の支援等、臓器提供が適切且つ円滑に行われるよう努めた。

(1) コーディネート業務

①【献眼業務】

- ドナー家族や医療機関等の連絡に対し、摘出医師と共に入院先医療機関を訪問し、ドナー家族等へ献眼についての説明を行った。

<令和2年度献眼業務事例一覧> **提供件数 3件** (連絡件数 7件)

事例	提供月日	提供施設	意思表示	提供者	移植者
1	4/1(水)	岐阜赤十字病院	口頭	80歳代女性 (2眼)	・90歳代女性(福岡県) (大島眼科病院) ・30歳代男性(東京都) (井上眼科病院)
2	4/28(月)	岐阜大学医学部 附属病院	口頭	70歳代女性 (2眼)	・保存眼(2眼)
3	非公表	非公表	意思表示 カード	50歳代女性 (2眼)	・70歳代男性 (岐阜赤十字病院) ・70歳代男性 (岐阜赤十字病院)

<令和2年度角膜移植実績件数>

角膜移植件数	5件
うち今年度提供角膜使用数	4件
うち保存角膜使用数	1件
・7/10 10歳代女性(岐阜赤十字病院) <R1保存角膜>	

*緊急角膜斡旋要請⇒岐阜赤十字病院 3件

【参考：角膜の移植状況（岐阜県）】

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
移植希望者数	9人	0人	0人	1人	0人	0人
提供件数	11件	9件	3件	4件	2件	3件
移植件数	14件	13件	6件	4件	4件	5件

*角膜移植希望者数については各年度末現在の人数を示す

*移植件数については県外施設移植分を含む

②【臓器提供業務】

- ・ドナー患者の入院先医療機関から連絡を受けて訪問し、家族等へ移植医療について説明を行った。
- ・（公社）日本臓器移植ネットワークコーディネーターと共に、病院及び関係各所との連絡調整を行った。

<令和2年度臓器提供実績件数>

医療機関等からの連絡件数	6件
うちポテンショナルドナー有効情報	4件
⇒家族説明	3件
⇒臓器提供	2件

≪年間臓器提供件数（全国）≫ *脳死下の内、臓器の提供に至らなかった件数 H31:1件/R2:1件

	H31年	R2年
脳死下臓器提供件数	98*	69*
心停止下臓器提供件数	28	9
合計件数	126*	78*

出典先：（公社）日本臓器移植ネットワーク

【参考：腎臓の移植状況（岐阜県）】

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
移植希望者数	252人	244人	240人	224人	225人	228人
提供件数	2件	0件	1件	0件	0件	2件
移植人数	2人	0人	2人	1人	1人	1人

*腎移植希望者数については各年末現在の人数を示す

*移植人数については県内施設移植分のみ

(2) 臓器提供者の遺族への対応

- ・角膜及び臓器提供に至ったドナー家族に対して、弔電の送付や感謝状の持参、移植患者の経過報告、移植患者からのサンクスレターの送付等を行った。
- ・遺族訪問件数 ⇒ 3件

2. 臓器移植に関する知識の普及啓発及び臓器提供意思表示の普及推進事業

(1) 普及啓発講座等

- ・臓器移植に関して正しく理解されるように、岐阜県警察学校検視実務専科にて講義『臓器提供時と検視対応について』『岐阜県の移植事情』を行った。
<11/11 検視実務専科入学生 22名>
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の為、市民公開講座及び各支援団体の出前講座等は実施できなかった。

(2) 臓器移植普及推進月間における啓発の強化及び意思表示の呼びかけ

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の為、岐阜県農業フェスティバル及び医療機関における病院祭り等が中止となった。
- ・移植医療のシンボルマーク『グリーンリボン』と「清流の国ぎふ」マスコットキャラクターであるミナモを併せたオリジナルデザインでポケットティッシュ（2,000個）を作成した。
- ・「臓器提供の意思表示」を明記したFCぎふ応援うちわ（300枚）をホームゲーム（9/27アスルクラロ沼津戦）にて観戦者に配布した。
- ・岐阜大学医学部附属病院看護週間にてバナー展示等を行った。＜10/19～10/23＞



ポケットティッシュ



FC 岐阜応援うちわ



岐阜大病院看護週間

- ・他団体主催献血運動及びライオンズクラブ四献運動に参加し、臓器提供意思表示カード、ポケットティッシュ等を配布し意思表示促進を図った

岐阜大学キャンパス献血(6/22、10/13、11/12、11/17、12/8)
大垣水都ライオンズクラブ献血(10/31、3/14)

- ・県内各関係機関及び関連施設等へ臓器提供意思表示カード・リーフレット・ポスター等の配布及び設置依頼を行った

岐阜県	保健所・分署センター	市町村
教科書設置センター	教育機関	北方町内小中学校
5 類型施設	透析施設	眼科施設
岐阜県体育協会	大垣市体育連盟	岐阜県スポーツ協会
大垣・大垣南自動車学校	岐阜大学医学部附属病院	

(3) メディア等を利用した普及啓発

- ・10月の普及推進月間広告を掲載 ＜9/25 朝日新聞朝刊・理事長挨拶文掲載＞
- ・JR岐阜駅前ニュースビジョンにて30秒広告を15分1サイクルで繰り返し放映 ＜10/10～20 704回放映＞

(4) 移植医療推進会議の実施

移植医療の推進の為、県内の臓器移植関係者が臓器移植に関する諸問題を検討する会議を開催した。＜12/23 岐阜大学病院＞

3. 移植医療従事者及び医療機関相互の協力体制の確立に関する事業

(1) 臓器提供の院内体制の整備及び病院啓発

開催日	内 容	
8月28日	岐阜市民病院院内勉強会	[岐阜市民病院]
11月26日	中濃厚生病院院内講演会	[中濃厚生病院]
12月22日	臓器提供施設連携対策構築事業「第1回重症事例カンファレンス」WEB	
※新型コロナウイルス感染症感染拡大の為に中止		
木沢記念病院臓器提供院内研修	東海中央病院手術室シミュレーション	
岐阜県総合医療センター院内勉強会	中濃厚生病院シミュレーション	

・院内コーディネーター会議・委員会・病院啓発等、臓器移植コーディネーター訪問

医療機関名	訪問日
岐阜大学医学部附属病院	6/23・9/9・1/13
岐阜県総合医療センター	9/2・12/22・2/12・2/21・3/17・3/23
岐阜市民病院	6/19・8/27・8/28・12/22・2/8
大垣市民病院	6/19・7/20・12/1・12/8・2/8
岐阜県厚生連中濃厚生病院	9/29・10/2・11/26・12/3・3/18
県立多治見病院	7/21・8/25・11/9・12/11・12/22・2/19
高山赤十字病院	9/23(WEB)・10/12・11/11・11/13・3/22
社会医療法人厚生会木沢記念病院	11/9・12/11・3/23
公立学校共済組合東海中央病院	6/30・1/19
社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院	6/29・2/12
岐阜赤十字病院	6/29
土岐市立総合病院	7/21・3/29
朝日大学病院	2/12
羽島市民病院	2/12
大垣徳洲会病院	2/25
久美愛厚生病院	3/22
東可児病院	3/29

(2) 院内臓器提供連絡調整員を対象とした研修会の開催

令和2年度は新たに9名が県から臓器提供連絡調整員に委嘱された。総勢63名の調整員が脳死下臓器提供可能施設として院内の臓器提供体制整備の取り組みを行っている。

また、臓器提供が可能となるよう、県内4施設がマニュアル整備を行っている。

≪脳死下臓器提供可能施設≫ ※ガイドライン上の5類型施設に該当し、公表を承諾した施設		
*岐阜大学医学部附属病院	*岐阜県総合医療センター	*岐阜県立多治見病院
*岐阜市民病院	*大垣市民病院	*高山赤十字病院
*岐阜県厚生連中濃厚生病院	*社会医療法人厚生会木沢記念病院	

・院内における移植医療を円滑に行えるよう、調整員の資質向上を目的とした研修会を行った。
 なお、三県合同（愛知・岐阜・三重）の新任院内移植コーディネーター研修会は新型コロナウイルス感染症感染拡大の為に、中止となった。

① 第42回岐阜県院内臓器提供連絡調整員研修会 令和2年9月9日(水) 岐阜大学医学部記念 出席者(WEB出席含): 45名 講演: 脳神経外科医師の立場から見た日本の臓器提供事情の問題点 講師: 吉開 俊一先生 社会医療法人北九州病院 北九州湯川病院
② 第43回岐阜県院内臓器提供連絡調整員研修会 令和3年1月13日(水) 岐阜大学医学部記念会館 出席者(WEB出席含): 27名 講演: 終末期医療の先に救える命がある 講師: 吉川 美喜子先生 関西メディカル病院腎臓病院総合医療センター

- ・院内コーディネーターが、臓器提供や家族説明の資料を持ち歩く為のメッセージバッグを作成し、5類型各医療機関へ配布した。

4. 献腎移植希望者に対する支援事業

(1) 腎臓移植希望者組織適合検査の実施及び更新登録者の受診支援

- ・レシピエントの医療情報の円滑な登録・管理とシステム化を支援した。(登録/更新/意思確認)
- ・岐阜大学医学部附属病院泌尿器科への更新登録希望者約200名の受診支援を行った。
- ・新規登録希望者の組織適合検査及び更新登録希望者の血清保存検査の実施(岐阜大学医学部附属病院へ委託)。また、透析施設への手続き(スピッツ送付、検体回収)を行った。

(2) 腎臓移植希望者への検査費用の助成

腎臓移植希望者の(公社)日本臓器移植ネットワークへの新規登録及び更新登録に必要な検査に係わる費用の助成を行った。

助成額: 1,008,000円

費用区分	新規腎臓移植登録希望者	更新腎臓移植登録希望者
検査費用	31,000円	5,000円
内訳		
自己負担額	5,000円	2,000円
協会助成額	26,000円	3,000円

*令和2年度新規登録と組織適合検査 21名

*令和2年度更新登録者の血清保存 155名(※1名県外在住者にて助成なし)

(3) 透析施設への移植登録案内

県内透析施設に移植登録案内及びグリーンリボン周知のためリーフレット・カード・ポスター等を配布した。

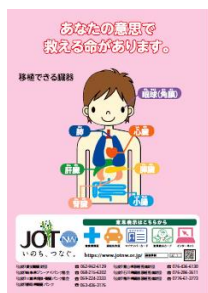
5. アイバンク活動を推進するための諸事業

- ・献眼時の新型コロナウイルス感染症対応として、PCR検査簡易キットを購入した。

- ・（公財）日本アイバンク協会より専用のパソコンが寄贈され、他県アイバンクとの情報共有を迅速に行った。
- ・献眼者及びご遺族様のご理解・ご協力に感謝し、弔電の送付、感謝状を持参し、移植患者の経過報告等を行った。
- ・各市町村及び眼科医会所属施設（40施設）に献眼推進ポスターの掲示を依頼した。

6. 多臓器にわたる臓器移植に関する相談及び支援

- ・角膜及び腎臓以外の多臓器にわたる臓器移植を推進する為、小中学生からも理解を得られやすいデザインで、東海北陸7県合同クリアファイル（1,000部）を作成し、配布した。
- ・岐阜県版選択肢提示用ポスター（200部）及びリーフレット（1,000部）を作成し、多臓器にわたる臓器移植に関して、医療機関が容易に提示できるよう支援した。



クリアファイル



ポスター



リーフレット

7. その他

（1）組織の名称変更

多臓器にわたる臓器移植の推進を図る為に、関係各所の理解を得て組織の名称変更を検討している。それに伴い、他県の情報を収集及び問い合わせを行った。

なお、時間をかけて充分議論する必要があるが、コロナ禍において議論することができなかった為、引き続き検討することになった。

（2）臓器移植コーディネーターの充実及び研鑽

- ・臓器移植コーディネーター退職に伴い、コーディネーター補助者が（公社）日本臓器移植ネットワークの研修及び試験にて、あっせん業務の委託証明書を取得後、7月に前任者と交代した。
- また、業務が円滑に遂行できるよう前任者がコーディネーター補助者としてフォローした。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の為、各会議・研修会・学会等が中止又はリモート会議にて開催されたが、各種情報の収集と臓器移植コーディネーターとしての資質向上に努めた。

東海北陸ブロック県移植コーディネーター連絡会議をはじめ、他県のコーディネーターと情報交換を行い、日本臓器移植ネットワークとの連携を強化した。

会議・研修会名	会場・開催月
都道府県新任コーディネーター研修	WEB (5月)
C級コーディネーター研修会	WEB (5・11月)
東海北陸アイバンク会議	WEB (9月)
第1回東海北陸ブロック県移植コーディネーター連絡会議	愛知県 (10月)
第43回全国アイバンク連絡協議会	WEB (11月)
全国都道府県コーディネーター連絡会議	WEB (12月)

(3) 機関紙「ぎふジン・アイバンク便り」の発行及びホームページの運営

県民や医療機関、支援団体の方々に当協会の活動を理解していただくため「ぎふジン・アイバンク便り第19号」を1,000部発行した。

また、イベント時の写真を掲載したホームページを随時更新した。

(4) 理事会・評議員会の開催

平成20年6月より12年間理事長職を務めた小林 博氏の辞任に伴い、7月1日代表理事の選定により河合 直樹県医師会長が理事長に就任した。

また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止及び緊急事態措置実施区域等により、定時評議員会及び第4回理事会はやむを得ずみなし決議の方法にて行った。

開催日	内容等	
6月5日	第1回理事会	事業報告／決算承認・評議員会開催決議・業務執行報告等
6月15日	定時評議員会	(みなし決議の方法による)事業報告／決算承認・評議員の改選及び理事の選任
6月23日	第2回理事会	(みなし決議の方法による)評議員会開催決議
6月30日	第2回評議員会	(みなし決議の方法による)理事の選任
7月1日	第3回理事会	(みなし決議の方法による)代表理事の選定
3月23日	第4回理事会	(みなし決議の方法による)補正予算承認・事業計画／予算承認

(5) 賛助会員の募集

三師会、各市町村、透析医療機関及び企業等、当協会の趣旨に賛同し、事業活動を積極的に支援していただける団体並びに個人様よりご賛同いただきました。

(順不同・敬称略)

賛助会費収入					1,094,000円
◎特別会員様(人口割)					830,000円
安八町	笠松町	坂祝町	東白川村	八百津町	
池田町	可児市	白川町	飛騨市	山県市	
揖斐川町	川辺町	関ヶ原町	七宗町	養老町	
恵那市	北方町	垂井町	瑞穂市	輪之内町	
大垣市	岐阜市	土岐市	御嵩町	(一社)岐阜県医師会	
大野町	郡上市	富加町	美濃市	(公社)岐阜県看護協会	
海津市	下呂市	中津川市	美濃加茂市	(一社)岐阜県薬剤師会	
各務原市	神戸町	羽島市	本巣市		

◎法人会員様（1口10千円）		240,000円
岐阜清流病院	中津川共立クリニック(2口)	松岡内科クリニック
サンシャインM&Dクリニック	すこやか診療所透析センター	澤田病院
新可児クリニック	水谷医院	高井病院
高桑内科クリニック	ゆり形成内科整形おおの	東可児病院
平野総合病院	タジミ第一病院	松波総合病院
大垣北クリニック	安八診療所	中北薬品(株)岐阜支店
(株)トーカイ病院関連事業本部	(株)八神製作所岐阜営業所	(株)トオヤマ(3口)
◎個人会員様（1口2千円）		24,000円
橋本 理恵	林 幸集	大橋 宏重(10口)

(6) 寄附金の依頼及び募金活動

ライオンズクラブ国際協会334-B地区をはじめ、関係支援団体からの善意の寄附金及び関係医療機関等に設置してある募金箱により支えられた。

(順不同・敬称略・単位：円)

寄 附 金 収 入		994,475円	
ライオンズクラブ第1RZC(R事務局)	666,525	加藤 雅之	5,000
ライオンズクラブ第2RZC(R事務局)	71,950	ヤナセ シンジ	50,000
ライオンズクラブ国際協会334-B地区年次大会	100,000	岐阜県眼科医会	50,000
高田 裕二	1,000	NPO 法人岐阜県腎臓病協議会	50,000
募 金 収 入		31,804円	
木村眼科	8,748	鷹尾眼科	3,917
木村内科	5,601	(一財)誠仁会	3,900
天野眼科医院	9,638		

(7) 持続化給付金の受給

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一時期アイバンク業務が休止となり事業を継続する為に、持続化給付金を申請し受給できた。

*事業報告の附属明細書

附属明細書については、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないため作成せず。